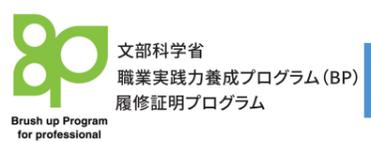


2026年度 募集要項

募集定員	アドバンスコース：20名(オンライン受講可) ベーシックコース：10名(オンライン受講可)																
出願資格	① 大学または短期大学を卒業した者 ② その他本学において、①と同等以上の学力があると認められた者																
出願手続	<p>募集要項等の請求 募集要項ならびに受講申込書の様式は、全て本プログラムの Web サイト (http://www.kansai-u.ac.jp/relearn/schedule.php) からダウンロードしてください。</p> <p>オンライン受講に係る事前相談 オンライン受講をご希望の方は、出願に先立ち、必ずオンラインによる事前相談を行ってください。</p>																
出願書類	<p>① 受講申込書 様式の所定欄に最近3ヶ月以内に撮影された写真を1枚貼付 ② 出身大学等の卒業(見込)証明書(本書)※1 1通 ③ 推薦状(様式自由)※2,3 所属団体企業等からの推薦状</p> <p>※1: 証明書記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、同一人であることがわかる公的な証明書(住民票・戸籍抄本等)を別途提出してください。 ※2: 出願資格②において出願の場合は、推薦状を必ず提出してください。 ※3: 個人受講の方は、推薦状を提出する必要はありません。</p> <p style="text-align: right;">詳しくはこちら </p>																
出願書類等の提出先	〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 関西大学 社会人学び直し大学院プログラムオフィス																
出願期間	<p>一次募集：2026年1月10(土)～2月9日(月) 二次募集：2026年2月10(火)～3月9日(月) 申込はこちら</p> <p>三次募集：2026年3月10日(火)～4月30日(木)</p> <p>※1: ただし、専門実践教育訓練給付金を申請の方は、5月14日(木)までに、出願してください。 ※2: 出願期間中であっても募集定員に達した時点で、募集を終了することがあります。 出願者は、出願書類等を一括し、上記の出願期間に「書留郵便」等、追跡可能な方法で郵送してください(消印有効) </p>																
選考方法	書類審査にて行います。																
受講手続き	<p>① 受講許可者へは 許可通知 手続書類を以下のとおり受講申込書に記載のe-mail宛に送付します。 ② 受講料 アドバンスコース：400,000円(1期(春期)：20万円 II期(秋期) 20万円) ベーシックコース：300,000円(1期(春期)：15万円 II期(秋期) 15万円) ③ 許可通知書等送付日及び受講料納入期</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>一次募集</th> <th>二次募集</th> <th>三次募集</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>許可通知書等送付日</td> <td>2月17日(火)</td> <td>3月17日(火)</td> <td>5月13日(水)</td> </tr> <tr> <td>受講料納入期日</td> <td>2月26日(木)</td> <td>3月26日(木)</td> <td>5月22日(金)</td> </tr> <tr> <td>録画コンテンツ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		一次募集	二次募集	三次募集	許可通知書等送付日	2月17日(火)	3月17日(火)	5月13日(水)	受講料納入期日	2月26日(木)	3月26日(木)	5月22日(金)	録画コンテンツ			
	一次募集	二次募集	三次募集														
許可通知書等送付日	2月17日(火)	3月17日(火)	5月13日(水)														
受講料納入期日	2月26日(木)	3月26日(木)	5月22日(金)														
録画コンテンツ																	
受講期間	2026年5月30日(土)～2027年3月12日(金) 原則として、授業は、土曜日(9時00分-17時00分)と水曜日の夜間(18時30分-20時30分)に実施します。																
会場	<p>〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町1-5 </p> <p>関西大学梅田キャンパス 6階 601教室または 604教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 阪急「梅田駅」茶屋町口から徒歩約5分 ● JR「大阪駅」から徒歩約10分 ● 地下鉄谷町線「中崎町駅」から徒歩約5分 																
集中授業	2026年7月11日(土)～12日(日)は、 関西大学千里山キャンパスにて集中授業を行います。 懇親会費(約4,000円)については、別途徴収します。																
修了要件	<p>以下の要件を満たすと、学校教育法第105条及び第164条に基づき本学から履修証明書を交付する。 【厚生労働省教育訓練給付金または人材開発支援助成金を申請する者】</p> <p>アドバンスコース ① すべての必修科目に合格し、合格した科目の時間数が120時間以上であること。 ② 原則として、授業を受講し、60点以上(100点満点)の成績を修めた者を合格とする。</p> <p>【上記以外の者】</p> <p>① 開講予定科目は全て自由選択とし、合格した科目の時間数が120時間以上であること。 ② 原則として、授業を受講し、60点以上(100点満点)の成績を修めた者を合格とする。</p> <p>ベーシックコース 以下の要件を満たすと、学校教育法第105条及び第164条に基づき本学から履修証明書を交付する。 ① 必修科目及び専門科目のうち選択した系のすべての科目に合格し、合格した科目の時間数が70時間以上であること。 ② 原則として、授業を受講し、60点以上(100点満点)の成績を修めた者を合格とする。</p>																
注意事項	受講に際しては、自宅等で安定してインターネットを使える環境があることが必要となります。事前学習については、e-learning システム(関大LMS)を使って行います。履修に関する連絡は、e-mailもしくは関大LMSにて行います。また、必要な書籍については、各自で購入してください。本プログラムは、大学院の正課科目としての単位認定は行いません。																
問い合わせ	<p>関西大学社会人学び直し大学院プログラムオフィス 詳しくはWEBで。</p> <p>TEL 06-6368-3016 (10時～17時 土・日曜・祝日を除く) 関大 リカレント 検索</p> <p>URL https://www.kansai-u.ac.jp/relearn/m e-mail manabinaoshi@ml.kandai.jp </p>																

アドバンスコースは、個人の受講料の最大8割が給付される「専門実践教育訓練」認定講座です。また、事業主に受講料の一部が助成される人材開発支援助成金の対象です。ベーシックコースは、個人に受講料の最大2割が給与される「一般教育訓練」認定講座です。対象要件や手続きの詳細は、厚生労働省やハローワークのウェブサイトをご確認ください。また、事前申請に係る個別の照会については、最寄りのハローワークまでお問い合わせください。



社会人学び直し・リカレント教育



グローバル人材を育成する 海外ビジネスマネジメント講座 海外子会社の経営を担う人材を養成する大学院教育プログラム

「履修証明制度」は、学校教育法に規定された制度で、一定の条件を満たした者に「履修証明書」を交付できる制度です。本プログラムはこの「履修証明制度」に従って社会人等を対象として120時間以上の科目に体系性を持たせた教育プログラムです。そこで、短期間に一定の体系ある学習が可能となるだけでなく、「履修証明書」取得後はその事実を履歴書やジャブカードに記載することができます。

アドバンスコース (2026年度)

厚生労働省「専門実践教育訓練」認定講座 | 個人の方 教育訓練給付制度 | 事業主(企業等)の方 人材開発支援助成金

START → 9ヶ月 → GOAL

履修証明プログラム (36科目: 163.5時間) ※

必修科目 21科目113時間

- 異文化コミュニケーション
- 経営戦略
- 中国経済の現状と課題
- 経営者の戦略的役割
- 組織・運営戦略
- ASEAN経済
- ASEANの地理・歴史
- 日本の経営思想
- ASEAN発展論
- ASEANの宗教・文化
- 海外事業体における管理者の役割と責任
- 海外経営のための管理会計
- 国際マーケティング
- 海外経営と国際租税法
- 人を動かす論証型プレゼンテーション
- 海外経営のための企業会計入門
- 子会社経営で直面する課題(ケーススタディ)
- 海外経営のための会計情報の利用
- グローバル企業の人材育成
- 企業成長のための海外進出事業戦略
- 子会社経営で直面する課題-人事労務政策-

選択科目 15科目50.5時間

- ◇ テーマスタディ (現代インドの政治と経済 海外での知的財産権 これからの世界に日本はどう立ち向かうのか 行政と民間のパートナーシップ～官民連携で付加価値向上に取り組む)
- ◇ 交渉学
- ◇ 伝わる文章作成技法
- ◇ ASEAN法律制度
- ◇ 海外展開のためのM&A
- ◇ リスクマネジメント (仮称)
- ◇ 海外赴任者との接続授業
- ◇ 経営・人事戦略
- ◇ グローバル経済
- ◇ 海外事業体(子会社)におけるコンプライアンス体制
- ◇ 海外派遣者のためのストレスマネジメント
- ◇ サイバーセキュリティ (仮称)

※開講科目・時間数は、若干増減・変更する可能性があります。

厚生労働省所管の教育訓練給付金または人材開発支援助成金申請者のみ必修科目の設定があり、申請されない方は、全科目自由選択となります。

ベーシックコース (2026年度)

厚生労働省「特定一般教育訓練」認定講座 | 個人の方 教育訓練給付制度

START → 9ヶ月 → GOAL

履修証明プログラム (19科目: 100時間)

必修科目 10科目50時間

- 異文化コミュニケーション
- ASEANの宗教・文化
- 人を動かす論証型プレゼンテーション
- 交渉学
- 伝わる文章作成技法
- グローバル企業の人材育成
- 海外経営のための企業会計入門
- ASEAN経済
- グローバル経済
- 経営戦略

選択必修科目

- | | | |
|--|--|---|
| <p>経済・法律系</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ ASEAN発展論 ◇ ASEAN法律制度 ◇ 海外経営と国際租税法 | <p>経営系</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 海外経営のための管理会計 ◇ 日本の経営思想 ◇ 国際マーケティング | <p>マネジメント系</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 海外派遣者のためのストレスマネジメント ◇ 海外事業体(子会社)における管理者の責任と役割 I ◇ 子会社経営で直面する課題(ケーススタディ) |
|--|--|---|

9科目50時間

※「海外赴任者との接続授業」及び「テーマスタディ(4テーマ)(これからの世界に日本はどう立ち向かうのか、現代インドの政治と経済、海外での知的財産権、行政と民間のパートナーシップ～官民連携で付加価値向上に取り組む)」科目は修了に係る認定時間には含まれませんが聴講できます。

世界で通用する課題設定力と思考力を養う

海外展開を行う企業には、語学力に加えて、深い異文化理解に根ざした経営戦略を立案できる人材が求められます。具体的には、異文化環境に臆せず飛び込むバイタリティをもち、自律的に課題設定から解決までを行い、現地の人々と対等な関係を築き、企業価値を高めることのできる人材です。本プログラムでは、大学教員が行う専門・教養教育による「理論知」に加えて、企業出身教員による実践的な教育によって「実践知」を学ぶことができます。

これら二つの知を両輪として多様な宗教・価値観が共存する海外での展開を想定した戦略事例を学ぶことで、国・地域に限定されない汎用性をもった真の思考力を養成します。体系化された教育プログラムと徹底したサポート体制で、海外での活躍をめざす社会人のキャリアアップを応援します。

教育プログラムの概要

本プログラムは、3段階の体系性を有しています。具体的には、「実践基礎教育プログラム」は、実務家教員等による演習・講義であり、海外におけるマネジメントの基礎を学習します。「専門教育プログラム」は、大学教員による専門的な講義であり、グループワークやディスカッションを用いた教育効果の高い授業により、理論知を身につけます。「実践応用教育プログラム」は、実務家教員等による演習であり、経営者の視点・考え方を学びます。



社会人学び直し大学院プロジェクトプロジェクトリーダー/経済学部 教授

林 宏昭

- 経営戦略、トップマネジメント、ASEANの宗教、地理・歴史、経済など体系化されたカリキュラム
- ケーススタディでのディスカッションや、グループワークを通じての問題解決力、経営交渉力の向上
- 企業出身の実務家教員による実践的な講義
- 授業を欠席した場合でも、ビデオ講義にて視聴可能
- 修了生には、学校教育法に基づき「履修証明書」を交付

- こんな方におすすめです！
- マネジメント研修や人材育成のメニューをお探しの方
 - 中小企業の海外展開支援を行う金融機関の方
 - これまでの経験知を実践知にUPDATEしたい方
 - 海外展開企業へキャリアチェンジをお考えの方
 - 海外赴任者および外国人社員の方の研修をお探しの方

派遣企業の声



モニターとして若手社員を送り出してから10年、本講座も11期目となり参加経験者も22名で大半が海外部門で活躍中です。内容も実践的で今後も海外駐在員の育成に大いに活用させていただきます。

西村 元秀さん
泉州電業株式会社 代表取締役社長



私自身がまず受講してみて、異業種の人たちと海外ビジネスを学ぶことで、新たな事業のイメージが湧きました。今は、社員にも受講を勧め当社の営業員育成研修として非常に役立っています。

檀上 利洋さん
株式会社善光商事 代表取締役

受講生の声

【多くの方に学んでほしいプログラムです】
沢山の事例を自社に置き換えて考えることで今後の目指す方向性や注意しておかなければならないことなど、実務に適した内容でした。グループディスカッションでは、異業種の方と意見を交換することで、新しい発見や共通する取組みなど、いろいろな意見を聞くことができたことは有意義でした。また学習環境も良く事務局の方にも大変お世話になりました。今後も、数多くの方に学ぶチャンスが与えられることを願います。



岩永 清人さん
泉州電業株式会社 内部監査室

【経営者の想いを感じられる】
面白い！このプログラムは、社会経験を学習に関連づけながらいろいろ学べるので面白いです！プログラムの目的は海外経営者育成だと思いますが、グローバルな立場から「日本企業としての在り方」などが学べました。また、経営者が何を考えているのか、自社として今どのような局面にあるのか、今やろうとしていることの意味は何か、が理解できるようになり、会社の最終目標と業務が結びつくようになりました。



福岡 和也さん
株式会社大洋工作所 経理部 課長

【仕事と両立しながら続けられる】
約9ヶ月間というスケジュールも、仕事と両立しながら無理なく続けられる期間で、受講を決めた大きな理由です。集中合宿があり、そこで一緒に勉強する仲間たちと一気に打ち解けられネットワークが深まります。異なる背景を持った社会人が集まった授業はすごく刺激的です。また、ケーススタディの授業では、現地で実際に直面する可能性がある事例について、ディスカッションを通じてシミュレーションできるので実践的な問題解決能力が身につきました。



宇佐美 健一さん
株式会社光アルファクス 営業支援推進部

学び直しのサポート体制

都心型キャンパス (時間的制約の解消)	関西大学梅田キャンパスは、阪急梅田駅(徒歩5分)の大阪市北区鶴野町に開校。
e-learningによる学習 (教育の実質化)	ビデオ視聴による事前授業にて30分程度の予習を行い、必要な知識を習得。
講義・収録配信システム (欠席に関わる配慮)	授業を欠席した場合、当日の授業映像をオンデマンドにて視聴可能。
集中合宿授業 (人的交流促進)	集中合宿授業(関西大学六甲山荘)を実施。異なるバックグラウンドを有する受講者が授業時間内外を通じて、お互いに意見を交換することにより、教育効果を高め、人的ネットワークを創出。

社会人が受講しやすい環境・工夫

「海外子会社の経営を担う人材を養成する大学院教育プログラム」 ＜アドバンストコース＞2026年度開講予定科目概要 (36科目：163.5時間)							
授業科目・担任者(所属)	授業概要	時間	ベシッ クコース 対象科目	授業科目・担任者(所属)	授業概要	時間	ベシッ クコース 対象科目
実践基礎教育プログラム(9科目：計43時間)				専門教育プログラム(16科目：計77時間)			
◎異文化コミュニケーション 守崎 誠一(関西大学外国語学部教授)	異文化コミュニケーション分野の理論について言語、非言語コミュニケーション、価値観、宗教観、企業文化、倫理観の視点から学習し、異文化コミュニケーションの現象を多角的に理解・分析する視点を身につける。	6	教養 (基礎)	◎ASEAN発展論 北波 道子(関西大学経済学部教授)	アジア経済のダイナミクスを理解し、それに伴う製造業の生産拠点移動など、一定の法則性を理解する。	5	専門
◎人を動かす論証型プレゼンテーション 岩崎 千晶(関西大学 教育推進部教授)	経営に関する知識や情報、経験の中で整理・視覚化させるためにシンキングチャート「プレゼンテーションスキル」を活用して、思考力を高めるための手立てとする。	5	教養 (基礎)	◎日本の経営思想 田中 一弘(一橋大学大学院経営管理研究科教授)	日本企業の経営は、江戸時代以来の日本の経営の思想が連続と引き継がれている。現地の方に、それを理解してもらえるように、日本の経営思想の歴史と手法を学習する。	6	専門
交渉学 唐澤 理恵(office KARARIE)	交渉相手と良好な信頼関係を構築しながら、最大の利益を得るための交渉戦略、手法を、ビジネスの場面であらかじめケーススタディ等を通して身につける。	5	教養 (基礎)	◎中国経済の現状と課題 樫谷 慎0(神戸大学大学院経済学研究科教授)	中国の市場化のプロセスを分析し、中国の国家資本政策と外資政策に関する知識を習得したうえで、いくつかの事例の考察を通じて、さらに実践的に理解する。	4	-
伝わる文章作成技法 毛利 美穂 (関西大学プログラム・アドバイザー)	経営に関する情報や課題の本質を捉え、様々な判断の根拠を示し比較検討をするための「クリティカルシンキング」プロジェクトライティングの技法を身につける。	2	教養 (基礎)	◎ASEANの地理・歴史—経済的影響と課題 野間 晴雄(関西大学名誉教授)	ASEANの国々に現地赴任し、海外子会社を運営したり海外で直面する課題を解決したりする上で必要となる、実践的な生活の知恵と現地の人と接するときに必要な知識を学習する。	5	-
◎経営戦略 吉田 史朗 (S&Gビジネスディレクション株式会社 代表コンサルタント)	海外進出の目的を、二つの経営戦略、すなわち企業戦略(成長戦略)的視点と競争戦略的視点から、今注目されている代表的な経営戦略論によるアプローチや、様々な企業事例を通して明確にする。	6	教養 (専門)	ASEAN法律制度 西澤 希久男(関西大学政策創造学部教授)	ASEANにおいて、海外子会社を運営する際に直面する問題に対応するため、とくに紛争処理及び消費者保護に関する法律に焦点を絞り、各国の法制度の概要、特徴、及び問題点を学ぶ。	6	専門
◎国際マーケティング 馬場 一(関西大学商学部准教授)	国際マーケティングの戦略(国際マーケティングリサーチ、参入意思決定、STP)及び戦略(マーケティング・ミックス)を体系的に学び、事例を通じてその理解を深める。	4	専門	海外展開のためのM&A 牧野 信夫 (株式会社 マッキー コーポレーション 取締役CEO)	ケーススタディを通じて、グローバル企業に特有の問題点、組織論、人材活用、リーダーシップに関するトピックに焦点をあてることにより、発展段階に必要な人材の資質を理解する。	6	-
◎子会社経営で直面する課題(ケーススタディ) 根田 忠 (元JETRO大阪本部 貿易投資アドバイザー)	子会社経営でよく直面する課題(人間関係、リスク管理、人事労務問題、子会社と親会社の関係等)について、ディスカッションを通じて、自分の問題としてその解決策を考える。	6	専門	リスクマネジメント(仮称) 徳常 泰之 (関西大学商学部教授)	企業の管理者として外部環境の変化への対応がいかにリスクでマネジメントとして重要であるかの理解を深める。また「ミクロ面」からリスク認識と対策についての講義を行う。	3	-
◎組織・運営戦略 鹿代 徳文 (りそな総合研究所コンサルタント、 社会保険労務士)	グローバル視点で立案した経営戦略を実行していく上で、どう組織を編成し動かしていくのか、どう人材を確保し、育成しパフォーマンスを上げていくのか、そしてどう評価し報酬に結び付けていくのかを考える。	6	-	サイバーセキュリティ(仮称) 小林 孝史 (関西大学総合情報学部准教授)	広範囲にわたるITセキュリティ、ネットワークセキュリティについて講義する。	3	-
経営・人事戦略 岡井 真紀 (りそな総合研究所コンサルタント、 社会保険労務士)	他社事例を踏まえつつ人的資本経営について理解を深めるとともに、自社における「ハラスメント」および経営戦略を踏まえたうえで、それを実現する人事戦略のあり方について提案する。	3	-	実践応用教育プログラム(7科目：計36時間)			
専門教育プログラム(16科目：計77時間)				実践応用教育プログラム(7科目：計36時間)			
◎ASEANの宗教・文化 酒井 真道(関西大学文学部教授) 小杉 麻季亜(関西大学文学部准教授)	ASEANでは、イスラム教、上座部仏教、ヒンズー教等の宗教が生活の隅々まで影響を与えており、現地の人と接するときに必要な知識を学習する。	5	教養 (基礎)	海外事業体(子会社)におけるコンプライアンス体制 野本 隆(元ダイハツ工業株式会社エグゼクティブ・アドバイザー)	コンプライアンスについては、違反防止に向けた体制の整備と行動指針を考え、立案した行動・改善計画等の成果を発表する。	3	-
◎海外経営のための企業会計入門 柴 健次(関西大学名誉教授)	会計は異文化コミュニケーションの強力なツールであるという視点に立ち、会計の基礎力の養成に力点を置く。ファイナンスの思考回路と会計の思考回路の相違を理解する。	6	教養 (基礎)	◎海外事業体における管理者の役割と責任 高橋 正典(元ダイハツ工業株式会社エグゼクティブ・アドバイザー)	講師の4ヶ国の海外事業体での学びを失敗経験も含めた多くの事例として紹介し、各自の意識の醸成、行動・改善計画の立案に結び付ける授業を展開する。	6	専門
◎海外経営のための会計情報の利用 柴 健次(関西大学名誉教授)	企業での問題がどのように会計情報にされるのかを考察し、逆に会計情報の変化から企業の状況の変化を読み解く。	6	-	海外派遣者のためのストレスマネジメント 池見 陽(関西大学名誉教授) 川端 康雄(大阪医科薬科大学 臨床心理士)	海外生活をする上で必要なストレス・コントロール法の獲得する。海外で直面する課題を解決する手法を学ぶ。	6	専門
◎海外経営のための管理会計 大西 靖(関西大学大学院会計研究科、 経済学部教授)	企業の経営管理において、必要不可欠な原価計算及び管理会計に関する知識を修得する。	6	専門	◎企業成長のための海外進出事業戦略 牧野 信夫(株式会社 マッキー コーポレーション 取締役CEO)	事前学習で具体的な海外進出事業計画フレームワークの作り方を学習し、各受講生が自分の海外進出事業計画フレームワークを作成し発表する。	3	-
◎海外経営と国際租税法 中村 繁隆(関西大学大学院会計研究科教授)	日本の税法人ととの取引を題材に、現地の国内租税法と租税法の関係と学習し、国際租税法の基本的思考を習得する。	5	専門	◎グローバル企業の人材育成 牧野 信夫(株式会社 マッキー コーポレーション 取締役CEO)	グローバル人材の定義・要件設定を行い、それに沿った人材育成を行う組織と教育の在り方を理解する。	6	教養 (専門)
海外赴任者との接續授業 三島 徹也(関西大学大学院会計研究科教授)	海外赴任中の終了生と接し、海外の実情や海外赴任の実態を語り、またケーススタディを学ぶことで、赴任時のリスクヘッジを身につける。	2	-	◎子会社経営で直面する課題—人事労務政策— 根田 忠(元JETRO大阪本部 貿易投資アドバイザー)	海外子会社で直面する人事労務政策にかかわる課題において、経営者としてどのように考え、行動するべきかを事例・ディスカッションを通して考え、説明する。	6	-
◎ASEAN経済 後藤 健太(関西大学経済学部教授)	ASEANで広がる生産・流通ネットワークの裏面と、産業高度化の課題と可能性を、グローバル・ビュー・チェーン分析枠組みを用い、日本企業との視点から明らかにし、その国際化戦略の策定に必要な能力を養う。	5	教養 (専門)	◎経営者の戦略的役割 吉田 史朗 (S&Gビジネスディレクション株式会社 代表コンサルタント)	経営者としての戦略的役割の中で、特に社員を引っ張る「リーダーシップ」を身につけること、「経営管理能力」を発揮すること等に焦点を当てる。	6	-
グローバル経済 高星 定美(関西大学商学部教授)	変動の激しい世界経済の動きを客観的に理解し、海外子会社を運営する上で必要な世界経済と進出先の国の経済の動向、そして将来を分析できる能力を、グループワークを通して身につける。	4	教養 (専門)				
テーマスタディ(4テーマ：計7.5時間)							
「これからの世界に日本はどうか」 「現代インドの政治と経済」 「海外での知的財産権」 「行政と民間のパートナーシップ」 ～官民連携で付加価値向上に取り組む～」	大武 健一郎(元国税庁長官) 福味 教(関西大学政策創造学部教授) 講師選定中 講師選定中	7.5	-	世界情勢や知的財産など、現代的課題にフォーカスする。	7.5	-	